

平成25年度予算見積調書

課室名：特別支援教育課

担当名：教育指導担当

内線：6888

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B73	特別支援学校就労支援総合推進事業			一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援教育振興費	就労支援推進事業費	
事業期間	平成20年度～平成28年度	根拠法令	なし				戦略項目 分野施策	020107 特別支援教育の推進	
1 事業の概要 特別支援学校高等部入学時に企業への就労を希望した全ての生徒の進路実現を図るため、職業教育の充実と関係機関との連携を進めるために要する経費を助成する。 (1) 企業のニーズを踏まえた職業教育の推進 2,257千円 (2) 就労可能な企業の情報の収集 1,998千円 (3) 企業に向けての理解啓発 185千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 企業のニーズを踏まえた職業教育の推進 2,257千円 (イ) 3D意識向上民間研修 222千円 高等部のある特別支援学校(37校)で各2名の参加(7,8月 夏季休業中) (ロ) 就職支援アドバイザー 1,665千円 高等部のある特別支援学校(37校)で指導助言を各3回まで実施(通年) (ハ) 卒業生による説明会・講演会 370千円 高等部のある特別支援学校(37校)で説明会・講演会を実施(通年) イ 就労可能な企業情報の収集 1,998千円 (イ) ハローワーク等との共同職場開拓(通年) 1,110千円 高等部のある特別支援学校(37校)で進路担当等2名がハローワーク等と連携し就労可能な企業の開拓を実施 (ロ) 定着支援と企業情報の収集(通年) 888千円 高等部のある特別支援学校(37校)で進路担当等が職場実習や就労先企業で定着支援と雇用情報等の収集を実施 ウ 企業に向けての理解啓発 185千円 高等部のある特別支援学校(37校)で企業向け学校公開を実施(通年) (2) 事業計画 ア 3D意識向上民間研修での体験や就職支援アドバイザーの指導助言を日々の指導に活かし、生徒・保護者の就労意欲を高める。 イ 労働関係機関と連携し、就労可能な企業の開拓、職場実習や就労先での職場定着を図ると共に雇用関係情報を得る。 ウ 企業に特別支援学校の教育内容や生徒の様子を周知し、就労支援の推進や共生社会の実現の原動力とする。 (3) 事業効果 ア 企業のニーズに応じた職業教育の実施、組織的な職場開拓及び理解啓発により就労支援が図られ、職業自立を促すことができる。 イ 高等部入学時の企業への就労希望をした生徒のうち、進路実現を果たした生徒の割合 【実績】平成21年度 67.9% 平成22年度 69.9% 平成23年度 73.2% 【目標】平成24年度 75.0% 平成25年度 80.0% 平成26年度 84.0% 平成27年度 87.0% 平成28年度 90.0%					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円									
				財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
予算額									
決定額	4,440							4,440	△2,006
前年額	6,446							6,446	